

臨床データ利用のお願い

豊田厚生病院では、以下の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることを希望されない場合など、お問い合わせがありましたら以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

全腹腔鏡下子宮全摘術における子宮回収方法についての検討 ～経膈分娩歴の有無に着目して～

2. 研究責任者

豊田厚生病院 産婦人科 安井 裕子

3. 研究の概要

当院では 2012 年 1 月より全腹腔鏡下子宮全摘術 (TLH) を導入し、手術技術の向上により、適応症例を拡大してきました。その中で妊娠・分娩歴のない症例や、分娩方法が帝王切開のみの症例など、経膈分娩歴のない症例も増加しています。経膈分娩歴のない症例は膈が狭い・伸展性が乏しい場合が多く、摘出子宮を膈から回収する TLH では、経膈的子宮回収に難渋することを実感しています。そこで子宮回収方法を工夫することで従来方法より、より短時間で、かつ合併症の発生なく安全に子宮回収する方法を考案し、実践しています。今後のよりよい手術実施のため、TLH において経膈分娩歴の有無と当院で施行している子宮回収方法の工夫が、子宮回収時間、合併症の有無に与える影響について後方視的に検討します。

4. 研究の方法

①対象となる患者さん

2012 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までに全腹腔鏡下子宮全摘術を施行された患者さん

②調査項目

電子カルテ、手術 DVD から下記の情報を調査します。

- ・手術病名、年齢、BMI、妊娠・分娩歴、分娩方法
- ・手術所見（手術時間、出血量、検体重量、摘出子宮の回収方法など）
- ・手術記録、手術による合併症の有無

③研究期間

倫理審査委員会承認日から 2020 年 10 月 31 日

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

豊田厚生病院 第 1.0 版 2020 年 9 月 8 日作成

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：豊田厚生病院 産婦人科 安井 裕子

〒470-0396

豊田市浄水町伊保原 500-1

電話：0565-43-5000（代表）